

2023 年度日本学生支援機構大学院第一種奨学金
業績優秀者返還免除申請要領

1. 申請受付

期 間：2023 年 12 月 22 日（金）～2024 年 1 月 12 日（金）

月～金 9：00～11：30 12：30～17：00

※12/29～1/8 は事務室閉室のため、受付できません

場 所：学生生活課

提出書類：①令和5年度業績優秀者返還免除申請書（両面印刷すること）1部

②博士課程の業績評価に関するガイドラインについて（博士後期課程のみ）1部

③特に優れた業績を証明する資料 紙媒体2部及びデータ

④業績優秀者返還免除 学内選考結果送付先届 1部

⑤証明書交付願（「授業科目の成績」で申請する者のみ提出）1部

※③については、コピーするなどして、計2部提出してください。

（本学研究科での推薦審査用1部、日本学生支援機構提出用1部）

また、③のみ今年度よりデータでも提出が必要となります。

◆学会参加等により、やむを得ず受付期間内に申請ができないとあらかじめ判明している場合は、事前に学生生活課へ相談してください。事前相談がない場合は、いかなる理由があっても、上記申請受付期間後の受付は一切できません。

◆申請受付最終日は混雑しますので、余裕をもって早めに申請をしてください。

2. 「①令和5年度業績優秀者返還免除申請書」作成要領

(1) 資料番号は【業績項番】-【枝番】としてください。同じ【業績項番】のうち、自身が最も優れていると考える業績を【枝番】の1としてください（ただし、審査はすべての業績で行います。【枝番】の1とした業績のみで審査をするわけではありません。）。

(2) 改姓等により、業績の資料と申請書の氏名が異なる場合には、新姓と旧姓を併記するようにしてください。

例：機構（旧姓 奨学） 太郎

(3) 記入後は、両面印刷してください。

3. 「③特に優れた業績を証明する資料」作成要領

下記要領に従って、紙媒体およびデータで提出してください。

○紙媒体及びデータ共通

改姓等により、業績の資料と申請書の氏名が異なる場合には、新姓と旧姓を併記するようにしてください。

例：機構（旧姓 奨学） 太郎

○紙媒体（2部）

提出期間：2023 年 12 月 22 日（金）～2024 年 1 月 12 日（金）

(1) 「①令和5年度業績優秀者返還免除申請書」に記載したすべての業績について提出してください。

(2) 資料はできる限りA4サイズにしてください。

(3) 申請書の資料番号欄に記入した番号を、対応する資料の右上に必ず記載してください。

(4) 特に優れた業績を複数挙げる場合、「特に優れた業績を証明する資料」＜表紙＞に記載された順（1～10）に資料を並べてください。

(5) 業績を証明する資料に記載されている申請者氏名や論文名、会議名、学術雑誌名、著者名、発表者名、発行日、発表日等にラインペン等でマークしてください。

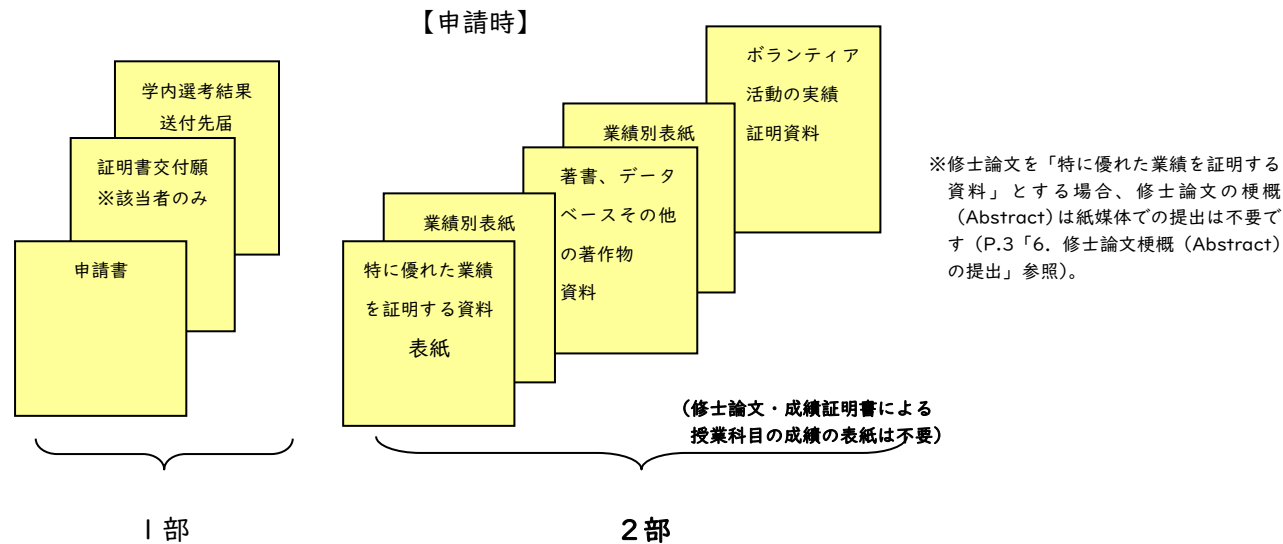
(6) 博士前期・修士課程の学生が「学位論文その他の研究論文」を業績として挙げる場合で、修士論文を「特に優れた業績を証明する資料」とする場合、修士論文の梗概（Abstract）は紙媒体での提出は不要です（P.3「6. 修士論文梗概（Abstract）の提出」参照）。

(7) 「授業科目の成績」を業績として挙げる場合、成績証明書は申請時には不要です（P.4「7. 証明書交付願の提出」およびP.5「9. よくある質問」Q.9参照）。

- (8) 申請受付期間に提出する「業績を証明する資料」に、「業績別表紙」を「資料」の種類ごとに付けてください。
- (9) 「特に優れた業績を証明する資料〈表紙〉」を「業績を証明する資料」の表に付けて、下図を参考に計2部提出してください。

提出書類（紙媒体）の例

博士前期課程法学研究科の学生が4種の業績（学位論文、著書、授業科目の成績、ボランティア活動）により申請する場合、修士論文を「特に優れた業績を証明する資料」とする場合



○データ

提出期間：2023年12月22日（金）～2024年1月31日（水）

- (1) 「①令和5年度業績優秀者返還免除申請書」に記載した業績のうち、各【業績番号】の【**校番**】が1の業績についてのみ、提出してください（業績項目1つにつき、1点の資料となります）。
- (2) 業績データは、下記のとおり提出してください。
 拡張子：pdf
 ファイル名：「学生ID」＋「氏名」＋「資料」＋「（申請書に記載の資料番号）」
 ※数字は半角
 例：1301220999 機構太郎資料1-1.pdf
- (3) 業績の種類により、データの最大ページ数および必要項目が定められています。別紙「データ資料の必要項目及びページ数」を必ず確認したうえで、作成してください。
- (4) 博士前期・修士課程の学生が「学位論文その他の研究論文」を業績として挙げる場合、修士論文を「特に優れた業績を証明する資料」とする場合、修士論文の梗概（Abstract）を提出してください。提出時期は、P.3「6. 修士論文梗概（Abstract）の提出」を参照してください。
- (5) 業績データのみ1月31日（水）まで提出を受け付けます。下記提出期間※内に指定フォルダに提出してください。※あくまでも業績データの提出期間です。申請書等の紙媒体の提出書類は、申請受付期間：2023年12月22日（金）～2024年1月12日（金）に提出してください。

提出期間：2023年12月22日（金）～2024年1月31日（水）

提出先：所属研究科のURLよりWebdiskにアップロードしてください。

文化情報学	https://webdisk.doshisha.ac.jp/public/KTIyAqgNnzLQ5PcdFLBKog67NoZ-pw9Iohb9s5T3UoPL
理工学	https://webdisk.doshisha.ac.jp/public/IToyAOINXzLVjvPVFNMYToWC3ejZrqovqGbUiOMayO7
生命医科学	https://webdisk.doshisha.ac.jp/public/KTYwAAAdNnxLEFfgfWnQfU-kgtZn7qtl7dE5TuFk39PKp
スポーツ健康科学	https://webdisk.doshisha.ac.jp/public/8TowAItNXzLJ4_ZRyy5tIRcWjJt2_bdk2Q-nLD8ZaT7b
心理学	https://webdisk.doshisha.ac.jp/public/OTIyAWHNHzLLAPdcWXf2EkZWSMLHRFxcOrPI9HKS9wp
脳科学	https://webdisk.doshisha.ac.jp/public/yTozAOsNXyLxMfgdy45bO8jY-LfixY7krBDU4L4zFY
専門職（BS・LS）	https://webdisk.doshisha.ac.jp/public/vTIwATqNXwLZuPcke0FBP7qRRuWpp5bYPPEFKhtyhCM
上記以外の研究科	https://webdisk.doshisha.ac.jp/public/gTIZAViN3zLgofibEyOWJnmOkicTVk6b6AYoskLNYXXi

4. 申請資格

- (1) 2004 年度以降の大学院第一種奨学金採用者で、2023 年度中に貸与終了する者。
 - (2) 貸与終了時に在籍している課程で、特に優れた業績を挙げた者。
- ※2023 年度以降に博士課程において第一種奨学生として採用された人で、博士課程在学中に国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業」または「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の支援を受けた人は対象外です。

5. 申請上の注意

- (1) 様式が異なるもの（昨年度の様式や、記入項目を変更したもの）は一切受付できません。
- (2) 申請書の記入例に記載の注意事項をよく読み、Excel のファイルに直接入力し、作成してください。手書きする場合は、黒のペンまたはボールペンを使用してください（こすると消えるペンは不可）。記入を誤った場合は、二重線で消してください（訂正印不要）。
- (3) 申請書の「大学院における研究課題等」欄について、特定の研究課題のない申請者は、当該課程での課題・目標・計画等、申請者が特に力を入れて取り組んだ内容を記入してください。
- (4) 所属の研究科によって評価対象項目が異なりますので、申請する項目が評価対象か事前に確認してください。各研究科の評価項目、基準は、学生生活課と各研究科事務室で公表しています。評価対象外の項目を申請書に入力した場合は、修正が必要になります。
- (5) 特に優れた業績についての注意事項
 - (i.) 特に優れた業績の対象となる期間は、第一種奨学金の奨学生であった期間（休停止期間を含む）です。当該課程において優れた業績を挙げることが必要ですので、例えば、博士後期課程で奨学金の貸与を受け、今回返還免除申請する場合、博士前期・修士課程で挙げた優れた業績は対象とはなりません。
 - (ii.) 優れた業績の種類のうち、「大学院設置基準第 16 条に定める特定の課題についての研究の成果」および「大学院設置基準第 16 条の 2 に定める試験及び審査の結果」は、博士前期・修士課程修了のため、修士論文の審査に代えて行うものをいいます。申請する業績によって「業績を証明する資料」の提出時期が異なりますので、事前に学生生活課へ問い合わせてください。
- (6) 「学内選考結果送付先届」には、2024 年 5 月 1 日以降の連絡先（未定の場合は実家の住所）を記入してください。なお、提出後に変更があった場合は、学生生活課に連絡してください。
- (7) 原則として、郵送による申請は受け付けません。
- (8) 提出された申請書類は、一切返却できません。

6. 修士論文梗概（Abstract）の提出（該当者のみ）

博士前期・修士課程の学生が「学位論文その他の研究論文」を業績として挙げる場合で、修士論文を「特に優れた業績を証明する資料」とする場合、下記提出期間内に、指定フォルダに提出してください。

提出期間：2024 年 3 月 1 日（金）～2024 年 3 月 7 日（木）

拡張子：pdf

ファイル名：「学生 ID」＋「氏名」＋「修士論文梗概」※数字は半角

例：1301220999 機構太郎修士論文梗概.pdf

提出先：所属研究科の URL より Webdisk にアップロードしてください。

文化情報学	https://webdisk.doshisha.ac.jp/public/KTIyAqgNnzLQ5PcdfLBKog67NaZ-pw9Iohb9s5T3UaPL
理工学	https://webdisk.doshisha.ac.jp/public/IToyAOINXxLVjvPVFNMYToWC3ejZrqovqGbUiOMayO7
生命医科学	https://webdisk.doshisha.ac.jp/public/KTYwAAAdNnxLEFgfWnQfU-kgtZn7qtI7dE5TuFk39PKp
スポーツ健康科学	https://webdisk.doshisha.ac.jp/public/8TowAItNXzLJ4_ZRyy5tIRcWjJt2_bdk2Q-nLD8ZaT7b
心理学	https://webdisk.doshisha.ac.jp/public/OTIyAWNHHzLLAPdcWXf2EkZWSMLHRFxcOrPI9HKS9wp
脳科学	https://webdisk.doshisha.ac.jp/public/yTozAOsNXyLxMfgdy45bO8jY-LfIxxY7krBDU4L4zFY
専門職（BS・LS）	https://webdisk.doshisha.ac.jp/public/vTIwATqNXwLZuPcke0FBP7qRRuWpp5bYPPEFkhtyhCM
上記以外の研究科	https://webdisk.doshisha.ac.jp/public/gTIZAViN3zLgofibEyQWJnmOkicTVk6b6AYoskLNYXXi

7. 証明書交付願の提出（該当者のみ）

課程に関わらず、「授業科目の成績」で申請する場合は提出してください。

証明書自動発行機で「証明書交付願」（「成績証明書」ではありません）を1部発行し、必要事項を記入のうえ、申請書等とともに提出してください（別紙記入例を参照のこと）。

なお、2024年3月修了予定の方は、卒業生扱いとなりますので【在学生以外向け】の300円の証明書交付願を購入してください。2024年4月以降も同じ課程に在学される場合は、【在学生向け】100円の証明書交付願を購入してください。

証明書自動発行機では「それ以外の方はこちら」→「各種証明書（和文）」→「和文証明書申請」と選択し、手数料を支払えば、証明書交付願が発行できます。

※退学済、修了済の方は、各研究科事務室で成績証明書を取得し、添付いただいてもかまいません。

8. 申請後の手続き・結果連絡

2023年 12月22日（金） ↓ 2024年 1月12日（金）	申請書類提出	学会参加等により、やむを得ず受付期間内に申請ができない場合は、 <u>事前に</u> 学生生活課へ相談してください。 <u>事前相談がない場合は、いかなる理由があっても、申請受付期間後の受付は一切できません。</u>
2023年 12月22日（金） ↓ 2024年 1月31日（水）	「③特に優れた業績を証明する資料」データの提出	提出場所：Webdisk 提出書類：③特に優れた業績を証明する資料データ
2024年 3月1日（金） ↓ 3月7日（木）	修士論文梗概（Abstract）の提出（該当者のみ）	修士論文を「特に優れた業績を証明する資料」とする人のみ提出してください。 提出場所：Webdisk 提出書類：修士論文梗概（Abstract）データ
2024年 5月下旬	推薦者発表	学内選考の結果（推薦の可否）を、申請者全員に郵送にて通知します。なお、推薦者全員が免除認定されるとは限りません。
	日本学生支援機構での選考	
2024年 7月下旬～	免除者認定	日本学生支援機構から免除認定結果が通知されます。

9. よくある質問

Q1. ティーチング・アシスタントを業績として挙げる場合、どのような資料を提出すればよいのでしょうか？

A1. TA等担当実績証明書を提出してください。提出方法等は入力見本を参照してください。

Q2. 現在、研究論文を学術誌に投稿中ですが、現時点では投稿中で掲載が確定していません。このように業績が確定していない場合、評価されますか？またその際の資料はどのようなものですか？

A2. 所属の研究科事務室で確認してください。

Q3. 博士後期課程の者が、業績を証明する資料として博士論文を提出する場合の取り扱いが申請要領に書いていませんが、どのようにすればよいのでしょうか？

A3. 申請書と同時に提出してください。

Q4. ボランティア活動を業績として挙げようと思いますが、どのような資料を提出すればよいのでしょうか？

A4. そのボランティア活動が、申請者自身の専攻分野に関連する内容でなければ評価の対象と

はなりませんので、十分ご注意ください。

提出資料としては、申請者が活動を行っていたことを、主催者等の第三者が証明または評価しているもので、申請者の名前が明記されている資料が必要となります。

Q 5. 留学・休学等により奨学金を休止していた時期がありますが、この期間の業績は評価対象期間になりますか？

A 5. 休止期間中の業績も評価対象となります。

Q 6. 理工学研究科生ですが、業績を証明する資料について、学会で発表したことを業績とする場合、学会で発表したことがわかる書類（プログラムや要旨集、名簿等）か、発表した研究内容の書類か、どちらが資料として適切でしょうか？

A 6. いつ、誰が、何を、どうしたかがわかる資料が望ましいです。学会で発表したことがわかる書類（プログラムや要旨集、名簿等）と、その学会で何を発表したかがわかる書類を提出してください。

Q 7. 博士前期課程の理工学研究科生ですが、修士論文のみを業績として申請する場合、修士論文梗概の提出は必要ですか？

A 7. 理工学研究科の場合、修士論文そのものは評価の対象になりません。そのため、修士論文梗概の提出も不要です。

Q 8. 論文を業績として申請する場合、論文を製本して提出する必要はありますか？

A 8. ありません（業績を証明できれば結構です）。

Q 9. 業績が‘授業科目の成績’のみの場合、どのような業績資料を提出すればよいのでしょうか？

A 9. 申請書、証明書交付願、学内選考結果送付先届に加えて、‘申請受付期間に提出する資料は無し’にチェックした「表紙」2部を提出してください。

Q 10. 申請受付期間（2024 年 1 月 12 日（金））以降に「業績を証明する資料」を追加で提出することはできますか？

A 10. できません。

Q 11. 返還免除制度についてわからないことがあるのですが、どこに問い合わせればよいでしょうか？

A 11. 書式などの形式的なことは学生生活課に、選考や業績を証明する資料に関することは研究科事務室に確認してください。

Q 12. 標準修業年限で修了できない場合、申請可能でしょうか？

A 12. 研究科によっては、標準修業年限での修了（見込）者を選考対象とする場合がありますので、申請前に所属の研究科事務室で確認してください。

※採用時返還免除内定者が修業年内に修了できなくなった（学位を取得できなくなった）場合は、至急学生生活課まで申し出てください。

【本件に係る問い合わせ先】

同志社大学 学生生活課 月～金（平日）9：00～11：30 12：30～17：00

今出川校地（寒梅館1階）Tel 075-251-3280

京田辺校地（成心館1階）Tel 0774-65-7430

＊2023 年 12 月 29 日（金）～2024 年 1 月 8 日（月）は閉室

以 上